

明正年十月日誌

二十日

宵前し宮内拜命後初し面會の吉井同軍目黒橋和屋に
到り伊地知本田東同食の日本橋禹林し上杉光公先
夫婦り招請す以上人皆く善き三浦より末翰二天日條公招
二十一日

建野卿之
土方久元
徳大寺宗則

建野卿より訪ひ宮内省出勤諸事同事り定む
取調所より置き宮中一土方校徳大寺香川山園盡力の

早稲田大学図書館
文書 27
A 55
4



黒田清隆
伊藤博文
山田顯義
伊藤博文
栗本多喜
本田親雄
中井弘

三浦安

曾根俊虎
日思忠利
香川一敬三

税所篤三
大給恒
池田成幸
児玉淳郎
杉孫七郎
佐野常民

黒田参議、暗入。伊地知正治ヲ訪宮中、事ヲ告。川崎正藏宅へ招飲伊藤山田両参議亦相本田児判吉原中井各揮毫。長政来手四郎、金恵。

二十三日好晴有風

三浦安ハ行キ伊地知貞聲ヲ説ク。修ま館出勤。重和伊地貞聲事ヲ数ス。吹上御苑島津家、丈直ヲ観。榎屏黒浪達。曾根俊虎来キ那ノ校取立ノ事ヲ語。末弟亦留リ、海軍省御用掛拜命。長政曾根日思古海、共キ亦回宅飲。今日杉大輔約束ヲ断ル。吹上ヲ香川達。

二十四日好晴

税所篤三来。吉井ノ部少輔ヲ訪テ伊地知貞聲ヲ税所篤三ノ法公使客宿浪子ノ一系ヲ談ス。宮内省出勤法規ヲ調所初ニ開業。大給達。池田生ヲ訪ヨリ益難、盡カリ謝。野間生長屋借田面層。池田成幸、昨夕一乘リ、郵信。三浦安、昨夕會延集、郵信。児玉淳郎、益難之舞来ル。妻、山井ノ留、病リ看護ス。山井見舞宮中ニ、伊地知正治、書後リ送。杉大輔、面層佐野議官、石橋書、郵来。

高崎正風
思玉愛之印
古藤久米

竹田至所
東久世連修
柳原前光
秋月權指
花房義榮

二十廿日

伊地知正昭へ来り出勤ヲ促ス寒氣ノ為メ不年。宮中出勤
○高崎正風取調所へ来。伊藤参議ヲ訪撃時面會○
児玉愛二郎ヲ訪名刺ヲ出ス。○吉井ヲ訪伊地知貞馨ノ或ハ談ハ
○古藤久米来。百圓金持参。○三浦ヲ書翰来。

二十廿日

修史館出勤。戦亡取調書差出。○昨夜来稀に暴烈ノ風
○日本橋通ヨリ火大火相成。○坊壳知ヲ巡視古藤暗ス。○
築地中井東久世棟原秋月。花房等ヲ見舞。○浦田断夜
入帰宅。○第ニ銀行ヨリ借金百圓持来。○朝曾根後虎来

副島種臣

若佐地

伊地知正昭

二十七日宮内出勤。伊地知総裁取調所来。○副島亦出
勤御膳食有之ヨリ。○税所第三ヲ携清後館到。黄道
憲見。○伊地知正次君新宅ヲ建ツ我。吉井本田伊地知貞
招飲。○岩佐へ葉漬并謝儀ヲヤル。○宮内修史ヨリ元旦朝拜
申来。○門松并櫻樹ヲ買来。○曾根後虎書杯来。○今日切
二宮内省取調所ヲ仕舞。○宮内ヨリ月給(南)ノ返又○
青山墓地宛池邊外曲。○此夜月也。

二十廿日

